

# リハビリテーション実施率

分母：退院患者数

分子：リハビリテーションを実施した退院患者（PT,OT,STいずれか）

	2011年	2012年
退院患者数	2959	2927
リハビリテーションを実施した退院患者	1260	1382
リハビリテーション実施率	42.6%	47.2%

一般の急性期医療においてリハビリは不可欠の要素として考えられています。リハビリテーション実施率は在宅復帰率などと共に重要な指標となっており、機能等症状改善や廃用症候群・合併症などの予防や改善を目的とし、ADLの改善が速やかに進み、在宅復帰も早期に可能となることを示しています。

2012年のリハビリ実施数は1382件となっており、比較し**122件増加**、リハビリテーション実施割合はでは**4.6%増加**という結果でした。回復期リハビリテーション病棟を有する病院として、今後より一層伸ばしていきたいと思ます。

